



志民ネット 小出 義一

投票率向上に向けて

最近の市議会議員選挙の投票率は低下しており、県下でも低いレベルにあります。どの様に評価していますか。

有権者の政治離れ、選挙離れが要因であるとの認識です。政治や選挙への関心を高める必要があります。

日曜日に仕事をしていない人の割合は、36%という調査結果があります。有権者の働き方の多様化に対応するために、共通投票所の設置や期日前投票所の増設などを検討してはいかがですか。

期日前の投票数は増加していますが、投票率向上には結びついていません。従って期日前投票所の増設は、有効とは考えていません。

有権者は高齢化しており、投票所が遠く感じている方も増えていきます。当日投票所の配置を見直すなどの対応が必要ではありませんか。

有権者数の大幅な変化、市街地の増加見込みが無いことから、現

在の28箇所を維持したい考えです。

伊勢湾台風から60年を迎えて

今年で、伊勢湾台風から60年を迎えます。大きな被害をもたらした災害の教訓を生かし、防災対策をどのように進めてきましたか。

護岸整備や河川堤防の改修を実施し、雨水排水施設整備を進めてきました。また「地域防災計画」を策定し、自主防災組織の立ち上げを支援してきました。

伊勢湾台風では別名の尊い命をなくしています。命の大切さを伝えるために、慰霊行事も必要だと考えますがいかがですか。

本年度は、「半田市防災講演会」などを通じて、「命を守る行動」をとる啓発を進めていきます。



公明党 坂井 美穂

乳児の災害備蓄品について

現状の災害時の乳児の栄養確保はどうなっていますか。

南海トラフ地震発生時には、愛知県の「広域受援計画」により、国から救援物資が届けられ、その中に粉ミルクが含まれています。乳児用の粉ミルクは、保存期間が1年ほどと短いため、半田市において、備蓄はしていません。

県の「広域受援計画」での救援物資が届くまでに3〜4日間かかりますが、その間はどのように対応しますか。

粉ミルクなど乳児用品につきましては、「家庭での備え」自助」として、3日分の備蓄を求めています。

国産の液体ミルクの製造・販売が解禁された今、他市町においても備蓄する自治体が増えている中で、半田市においても、賞味期限が切れる前に消費し、常に新しいものを補充して一定量を備蓄しておく、ローリ

ングストック方式を採用し、災害備蓄品に追加すべきであると考えますが、いかがですか。

保育園などの施設において活用できるよう調整し、ローリングストック方式による備蓄を直ちに進めていきます。

乳幼児のロタウイルス感染予防について

半田市におけるロタウイルスワクチンの予防接種の接種率は、現状、どれくらいですか。

平成30年度の出生数930人のうち、約70%の乳児が接種したものと推測しています。

経済的な理由で接種を断念する状況はななくすべきであり、1日も早く公費助成を開始することが、子どもの健康、ひいては命を守ることに繋がると考えますが、この点について、どのように考えますか。

現状、知多半島の5市5町では助成を越えて通院する人もいると思えますので、やるなら是非、知多半島一緒にやりたいと思います。少なくとも5市一緒にやろうと5市の市長に提案したいと思えます。

経済効果が見込まれるのであれば、機会を捉えて誘致を図ります。



維新・半田市民の会 竹内 功治

観光政策の取組の現状と展望を伺う

観光政策は多くの税金が使われているため、税収増に繋がりに市民生活に豊かさを与える必要があります。現状をどう評価していますか。

半田市観光協会のアンケートでは65%が観光客増を感じ、42%が良い効果があるとの回答から、経済効果は上がっているかと判断しています。

例えば「ももいろクローバーZ」は自治体とコラボしてライブを開催し観光資源のPRを行うことで、3億円以上の経済効果を生みだしています。今後、このような大きなイベントを誘致すべきでないですか。

経済効果が見込まれるのであれば、機会を捉えて誘致を図ります。

映画やドラマ、アニメ等のロケ地を誘致するフィルムコミッションに力を入れて、認知度が上昇している自治体があります。半田市も積極的にロケ地の誘致を行う

べきでないですか。

現在、愛知県フィルムコミッション協議会に加入し情報提供を行っています。南知多町は独自で行っていますので、状況を確認して今後の誘致の方法を検討します。

観光の大きな魅力は「はんだ醸すご飯」

観光の大きな魅力は「はんだ醸すご飯」は人気ですが、取組の限界を感じます。今後は寿司への特化や、人気の高い知多牛を活用したB級グルメや牛肉寿司等、新たな展開を考へるべきでないですか。

今後、「はんだ醸すご飯」は寿司にスポットをあてて浸透を図り、知多牛の活用も考えます。

半田市が誇れる山車文化について、山車会館の建設、組上げやお囃子の稽古等、山車行事の活用を考へていきますか。

山車会館の建設は多額の建設運営費用が掛かるため、博物館の機能と合わせて議論していきます。山車行事の活用はからくり人形の公開等も含めて検討します。

来年の東京五輪に向けて、増える外国人観光客の対応を伺います。

外国人観光客に半田市を選んでもらえるような仕組み作りを進めます。

